

令和5年度 国語問題研究協議会
全体テーマ：日本語をどう書くか

小学校国語科における日本語表記の学習について
—ローマ字表記の学習の目的・内容を中心に—



2023年8月23日
滋賀大学 長岡由記

本日の話題

1. 日本語表記の学習内容について

小学校国語科では、日本語表記についてどのような学習を行っているのか。

2. ローマ字学習の目的と学習内容について

小学校国語科では、どのような目的でローマ字表記の学習を行っているのか。

- ①現在のローマ字学習の目標は何か　—何ができるようにすれば良いのか
- ②ローマ字学習の目的はどう変わってきたのか　—何のためにローマ字学習を行うのか

*現在のローマ字学習の目的とは

1. 日本語表記の学習内容について

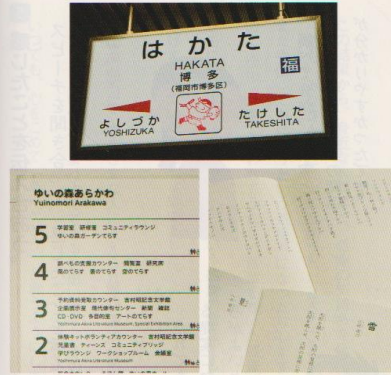
(1) 小学校国語科では、日本語表記についてどのような学習を行っているのか。

日本語をどう書くか — 「日本語の表記」

言葉を文字や記号で表すことを、表記といいます。わたしたちの身の回りでは、どんな文字が使われているか、さがしてみましよう。

言葉 日本語の表記

言葉を文字や記号で表すことを、表記といいます。わたしたちの身の回りでは、どんな文字が使われているか、さがしてみましよう。



るのを見ることが多いのではないのでしょうか。

仮名やローマ字は、読み方が一つです。しかし、日本語には同じ音の言葉が多くあります。そのため、漢字で書かないと意味が正確に伝わらないことがあります。

馬のしりょうをさがす。



いっぽう、漢字には、複数の音訓をもつものがあります。地名のように、漢字だけでは何と読むのかわかりづらいものには、仮名やローマ字で読み方を示すことがよくあります。

現在、日本語の文章を書き表すときには、ふつう、**漢字と仮名（平仮名・片仮名）**を使っています。

また、現在の日本語では、**ローマ字**も使われています。

現在、日本語の文章を書き表すときには、ふつう、漢字と仮名（平仮名・片仮名）を使っています。

漢字は、一字一字が意味を表します。このような文字を、表意文字といいます。これに対して、仮名は、意味を表さず音だけを表します。このような文字を、表音文字といいます。

漢字と仮名を適切に交ぜて書き表すことで、読む人は、速く、正確に語のまとまりをとらえ、意味を読み取ることができま。

また、現在の日本語では、ローマ字も使われています。駅名や地名などに使われてい

「おやま」かな。

「こやま」かな。



① 次の俳句を例に、文字によって受ける印象がどう変わるか、話し合いましよう。

なつくさや つわものどもが ゆめのあと
ナツクサヤ ツワモノドモガ ユメノアト
夏草や 兵どもが 夢の跡

🌸 いかそう

文章を書くときには、相手が読みにくいのか、読みまちがえないかを考えながら、仮名や漢字を使いましよう。

小学校国語科では、日本語表記についてどのような学習を行っているのか。

低学年

	平仮名	片仮名	漢字	ローマ字	記号	点字	その他
1年	母音（あいうえお） 清音、濁音（半濁音） 五十音図 撥音、促音、長音 拗音 は、を、へ	清音、濁音（半濁音） 撥音、促音、長音 （のばす音「ー」） 拗音	数（一～十） 象形文字・指事文字（漢字の成り立ち） 日付と曜日 ※一年配当漢字		「。」 「、」 （「。」） 横書きの書き方 「（、）」 「。」		
2年		片仮名で書く言葉 （擬音語—動物の鳴き声、いろいろなものの音、外国から来た言葉、外国の国や土地や人の名前など）	偏と旁（同じ部分を見つける） 会意文字、形声文字 漢字の読み方（複数の読み方） 似た意味のことば・反対の意味のことば 送り仮名		丸（。）点（、） かぎ（「」）の書き方		主語・述語

小学校国語科では、日本語表記についてどのような学習を行っているのか。

中学年

	平仮名	片仮名	漢字	ローマ字	記号	点字	その他
3年			音と訓 偏と旁 故事成語（ことわざ） 同音異義語 国語辞典の使い方	ローマ字表記（*アルファベット）、ローマ字表 長音（ハ）、促音、拗音、撥音と「'」, 大文字と小文字, 訓令式とヘボン式, 身の回りのローマ字表記（名前の読み書き） コンピュータのローマ字入力（複数の入力法, 四つ仮名, のばす音, 変換）	句読点（句点, 読点）, 中点（・）, ダッシュ（—）, かぎ（「」）, ※横書き（コンマ「,」, 算用数字と漢数字）		修飾語
4年		（慣用句：エンジンがかかる, メスを入れる）	漢字の組み立て（かんむり, あし, にょう, たれ, かまえ） 漢字辞典の使い方（部首, 画数, 索引） （慣用句） 熟語の意味（熟語の組み合わせ） 同訓異義語・同音異義語	ローマ字表			つなが言葉 ※辞典（百科事典, ことわざ辞典, 類語辞典など）

小学校国語科では、日本語表記についてどのような学習を行っているのか。

高学年

	平仮名	片仮名	漢字	ローマ字	記号	点字	その他
5年	*日本語の表記	*日本語の表記	漢字の成り立ち 和語・漢語・外来語 同音(訓)異義語(同じ読み方の漢字) *日本語の表記(表意文字と表音文字)	*日本語の表記(ローマ字の書き方について) ローマ字表		点字と手話 ※点字—点字とは、点字のあいいうえお表・数符), 手話—指文字のあいいうえお表	敬語 方言と共通語 複合語
6年	*仮名の由来(平仮名の表)	*仮名の由来(片仮名の表) *外来語(日本語への取り入れ方—発音, 意味等) 片仮名の役割	漢字の形と音・意味 熟語の構成 多義語 音読みと訓読み *仮名の由来(万葉仮名) *外来語(翻訳語)	ローマ字表			話し言葉と書き言葉 文の組み立て 言葉の変化(世代, 時代) 日本語の文字, 外国語の文字

小学校国語科では、日本語表記についてどのような学習を行っているのか。

平仮名

読み方・書き方

(清音, 濁音, 半濁音, 五十音図, 撥音, 促音, 長音, 拗音)

片仮名

長音記号, 片仮名の役割, 仮名の成り立ち

など

漢字

読み方・書き方, 漢字の成り立ち, 熟語の構成

(偏旁冠脚, 音・訓, 同音異義語, 和語・漢語・外来語, 類義語・対義語・多義語, 送り仮名, 外来語(翻訳語))

など

ローマ字

ローマ字の書き方(複数のつづり方, 大文字と小文字),
ローマ字表, ローマ字入力の仕方

など

記号

句読点(、 。), かぎ(「 」), 中点(・)

など

点字・手話

点字のあいうえお表, 指文字のあいうえお表

など

2. ローマ字学習の目的と学習内容について

小学校国語科では、どのような目的でローマ字表記の学習を行っているのか。

- ①現在のローマ字学習の目標は何か —何ができるようにすれば良いのか
- ②ローマ字学習の目的はどう変わってきたのか —何のためにローマ字学習を行うのか

*現在のローマ字学習の目的とは

①現在のローマ字学習の目標は何か

●平成29（2017）年告示 ＊令和2年4月施行 『小学校学習指導要領』

第2節 第3学年及び第4学年の内容 Ⅰ [知識及び技能] (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

(1) ウ 第3学年においては、**日常使われている簡単な単語**について、ローマ字で表記されたものを**読み**、ローマ字で**書く**こと。











文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』

日常使われている簡単な単語とは、地名や人名などの固有名詞を含めた、児童が日常目にする簡単な単語のことである。

(p.79, 下線=引用者)

ローマ字表記の学習内容

■ ローマ字で書かれた次の言葉を読みましよう。

	ami	a	kami	
	isu	i	risu	
	ume	u	tume	
	eda	e	medaka	
	ono	o	monosasi	

のばす音

■ のばす音は、「~」(のばすしるし)をつかって書き表します。
 どうろ → dôro せんぶうき → senpûki

はねる音・つまる音

■ 「ん」(はねる音)のあとに a・i・u・e・o・y がつづくときには、おんきり(切るしるし)「'」を入れて書きます。
 hon'ya kin'yôbi

なぜ、このように書くのかな?



■ 「きって」などの「っ」(つまる音)は、すぐあとにつづく文字を重ねて書きます。つまる音に書きかえましよう。

kite → () neko → ()

133(3)

大文字・小文字

■ 人の名前や地名は、はじめの文字を大文字で書きます。地名などは、大文字だけで書くこともあります。

Saitô Kyôko Ehime-ken
 NIPPON TÔKYÔ

「-」は、つなぐしるし。

ローマ字のつづり方

■ 「し」は「si」を書きますが、「shi」と書くこともあります。このように、書き方が二つあるものには、ほかにどんな言葉があるでしょうか。

身のまわりでは、~の書き方をよくつかいます。

ma chi	—	ma chi
sy a sin	—	sh a shin
man ge tu	—	man ge tsu
zy u dô	—	j u dô
Hu z isan	—	Fu j isan
mika z uki	—	mika z uki



外国の人にもわかりやすいように、地名や人名などではいろいろな書き方がみられます。



132(4)

・ローマ字表記とは

(ローマ字表, *アルファベット)

・ローマ字の書き方

(母音と子音の組み合わせ) 【同書, p.135】

・ローマ字のきまり

①のばす音(長音) ②つまる音(促音「っ」) ③はねる音(撥音「ん」)

おんきり「'」(例: hon'ya)

④大文字・小文字, つなぐしるし「-」(人名や地名の書き方)

・身のまわりにあるローマ字表記

・複数の書き方(例: miti-michi) など



文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』

2 「内容の取扱いについての配慮事項」

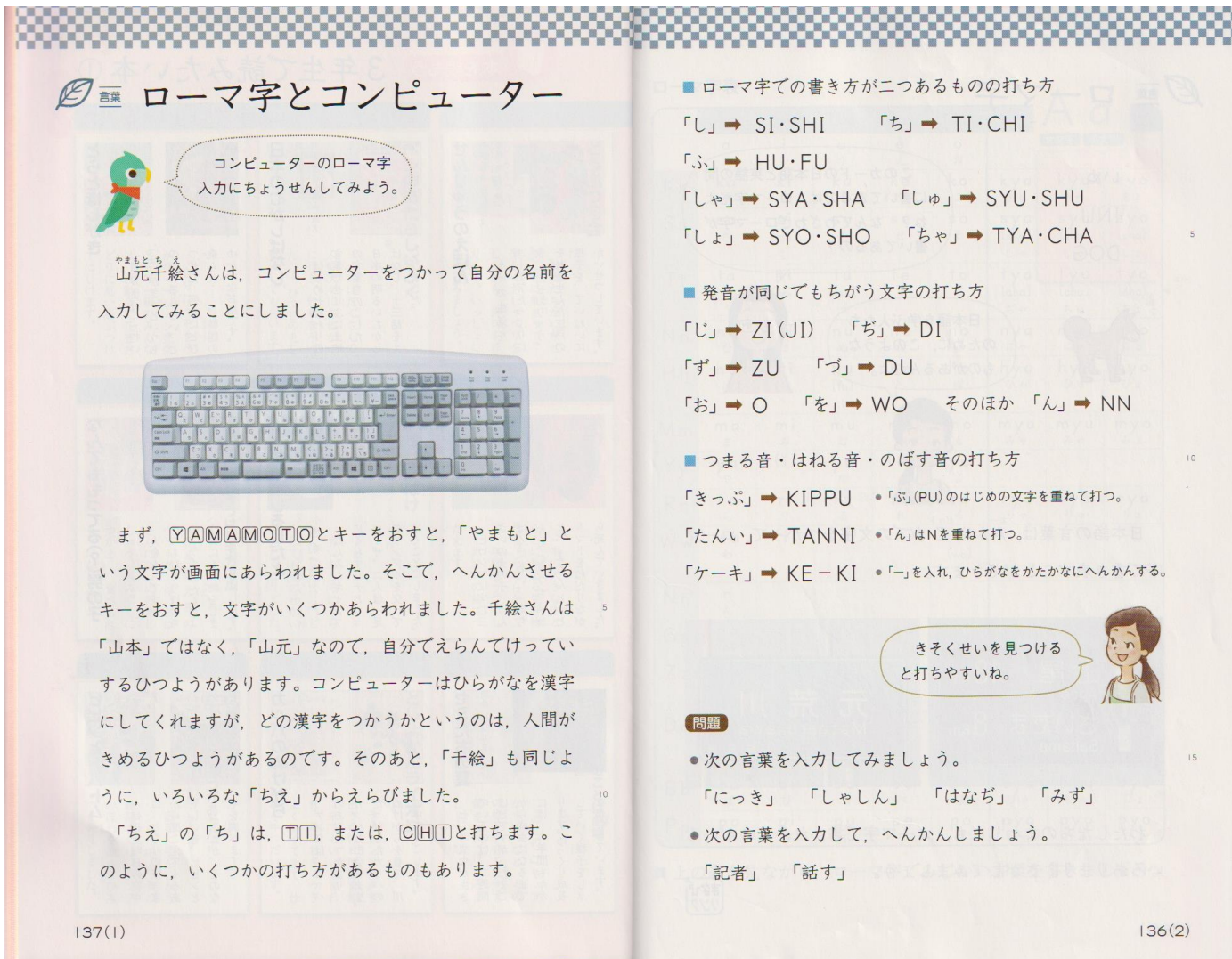
(1) [知識及び技能] に示す事項については、次のとおり取り扱うこと。

ウ 第3学年におけるローマ字の指導に当たっては、第5章総合的な学習の時間の第3の2の(3)に示す、コンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得し、児童が情報や情報手段を主体的に選択し活用できるよう配慮することとの関連が図られるようにすること。

ローマ字に関する事項の取扱いを示している。

総合的な学習の時間における、**コンピュータで文字を入力するなどの学習との関連**が図られるよう、指導する時期や内容を意図的、計画的に位置付けることが重要である。 (p.163, 下線・色付け=引用者)

ローマ字入力の学習内容



- ・ローマ字での書き方が二つあるものの打ち方 (si-shi,ti-chiなど)
- ・発音が同じでもちがう文字の打ち方

「じ」 ZI — 「ぢ」 DI

「ず」 ZU — 「づ」 DU

「お」 O — 「を」 WO

- ・つまる音 (促音)
- ・はねる音 (撥音)
- ・のばす音 (長音) の打ち方
- ・*変換 など

小学校3学年におけるローマ字学習の指導時期と配当時間数（指導書による位置づけ）

教科書	A社		B社		C社		D社	
学年	3年上	3年下	3年上	3年上	3年上	3年下	3年上	3年下
単元	ローマ字	ローマ字入力	ローマ字	ローマ字入力	ローマ字	ローマ字入力	ローマ字	ローマ字入力
指導時期	10月	3月中旬	10月	10月	6月	11月	9月下旬	2月下旬
配当時間	3時間	2時間	4時間	1時間	3時間	2時間	4時間	2時間

ローマ字表記

指導時期：6月 または 9月下旬 または 10月

配当時間：3～4時間

ローマ字入力

指導時期：10月 または 11月 または 2月下旬 または 3月中旬

配当時間：1～2時間

②ローマ字学習の目的は、どう変わってきたのか。

ローマ字教育の導入 国民学校におけるローマ字教育実施要項（昭和22年2月28日）

昭和22年度から、国民学校において、事情のゆるすかぎり、児童にローマ字による国語の読み方、書き方を授けることとする。

（備考）（1）この要項における国民学校とは、来年度から新学制が実施される場合には、小学校および新制中学校をさすものである。

【文部省(1955)p.17より】

要点

- ・ローマ字教育を行うかどうかは、その学校の教育上の責任者が決定する。
- ・原則として第4学年以上の各学年に行う。（※学校によっては第3学年から）
- ・授業時数は1年を通じて40時間以上とし、国語あるいは自由研究の時間のうちで行う。

●昭和22（1947）年 小学校学習指導要領（試案）

第一章三（二）

生活に必要な文字（ひらがな・かたかな・漢字・ローマ字）や、かなづかいになれさせる。

第三章四（一）8 ローマ字で読み書きできるようにする。

「ローマ字教育の指針」（昭和22年2月）【第1 ローマ字教育の必要と方針】

1 (略) わが国でも、これまで国民の一部では国語をローマ字で書き表わし、国語および国情を世界各国国民に理解させるのに役立たせて来たが、これからさらに新しく国際社会の一員として更生するためには、国民一般がローマ字で自由に国語を読み書きする能力および習慣を持つことが必要である。ここにローマ字教育を行う理由の第一がある。

2 ローマ字は、本来言語をうつすのにすぐれた機能を持つばかりでなく、書写・印刷等の実際において、能率の高い文字組織である。わが国民一般がローマ字で国語を書き表わし、ローマ字で多くの文献が印刷される社会習慣ができれば、社会生活の能率はいちじるしく高められ、一般国民の文化水準も高められるはずであって、(中略)。これが国民一般にローマ字教育を行う理由の第二である。

3 ローマ字は、国民一般に国語の特質・構造に関する正確な知識およびこれを自由に使う能力を得させるのに役立つことが多い。漢字・かなにもそれぞれ有利な特質があるが、またローマ字には単音文字として独自の機能がある。ローマ字を使用することによって、わが国民の国語能力および国語教養は、いちじるしく高められる。これが国民一般にローマ字教育を行う理由の第三である。

「ローマ字教育の指針」（昭和22年2月）【第1 ローマ字教育の必要と方針】

4 ところで国民学校でローマ字教育を行う上には、どういう**方針**をとるべきか。

国民学校の児童は、ローマ字による国語の読み書きを習得することによって、国語の音韻についての自覚、国語の構造ならびに機能上の特質についての理解を深めることができ、また成人社会における表記形式と同じ表記形式を速やかに身につけ、文字組織のやさしさから、多くの語を習得する便宜を受ける。

それ故にローマ字教育は、かな漢字まじり文による国語教育と並行して行われるが、その眼目は、国語教育の徹底・充実ということに求められるべきである。ここに国民学校におけるローマ字教育の根本方針がある。【文部省(1955)p.66, 下線=引用者】

第3 指導法

(4) ローマ字は表音文字であるから、ローマ字教育によって生きた言語生活に直接結びついた音声化ができ、音の上から国語意識を明確にすることができる。またローマ字文は、分ち書きで書かれるから、単語意識をはっきりもたせ、**国語構造に自覚を与える**など、文法的訓練にも役立ち、形の上から国語意識を明確にすることができる。(中略) すなわちローマ字教育は、以上のような点で、国語意識を明確にし、したがって、**文体意識をも明確にする**ものであるから、ローマ字で文章を書くことにより、従来のかな漢字まじり文の表現形式にかかわることなく、**耳で聞いただけで意味のよくわかる文章**を書くようになり、新しい文体の成立が可能になる。

【文部省(1955)p.68, 下線=引用者】

第一節 ローマ字の学習指導はどう考えたらよいか

- 1 児童の精神発達の段階に応じ、国語を書き表わす一つの手段としてローマ字を読み書きする能力を養い、あわせて国語・国字問題に対して反省する機会を与える。
- 2 ローマ字の長所を生かし、国語の機能とその特質を児童に理解・習得させ、聞いただけでわかることばを使う習慣を養う。
- 3 ローマ字がもっている国際的、能率的な長所を理解させる。

このように、ローマ字の学習指導を通じて国語力の充実をはかり、国語生活の改善に資することができるから、ローマ字の学習指導は、国語学習指導の中で一つの重要な位置を占める。

第三節 小学校におけるローマ字学習指導の目標は何か

- 1 ローマ字文への興味を発達させ、自発的にローマ字を読む習慣と態度を養う。
- 2 ローマ字書きのきまりを理解させ、読む人に誤解を起こさせないように、また、読みにくさを感じさせないように分ち書きをして書く習慣と態度を養う。

【第4学年】 ※年間20時間程度

- (3) 「、」(てん)をうち、またその他のおもな符号などの使い方を理解すること。
(ローマ字文の場合を含む。)
- (8) ローマ字については、次の事項を指導する。
- ア ローマ字で書いた語や簡単な文などを読むこと。
 - イ ローマ字で語や簡単な文を書くこと。

【第5学年】 ※年間10時間程度

- (6) ローマ字について、次の事項を指導する。
- ア 第4学年で学習したことのうえにたって、簡単なローマ字の文章を読むこと。
 - イ わかち書きに注意して、ローマ字の文を書くこと。
 - ウ ローマ字に使われるおもな符号について理解すること。

【第6学年】 ※年間10時間程度

- (7) ローマ字については、次の事項を指導する。
- ア 第5学年で学習したことのうえにたって、簡単なローマ字の文章を読むこと。
 - イ 正しくわかち書きをして、簡単なローマ字文を書くこと。

○ 算数や理科などで、長さを表わすのに、m, km と書きます。また、重さを表わすのに、g, kg と書きます。

長さや重さなどを表わすしるしとして使われ⁵ ているこれらの文字が、ローマ字です。

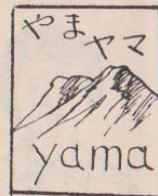
○ ローマ字は、イギリス・フランス・ドイツ・イタリアなど、ヨーロッパの国々をはじめ、アメリカなどで使っている文字です。また、トルコなどの東方の国々でも、ローマ字を国字とし¹⁰ て使っています。

日本語も、ローマ字で書き表わすことができます。

わたしたちの生活の中で、ローマ字がどんなところに使われているか、気をつけましょう。¹⁵



○ ローマ字は、ひらがなやかたかなと同じように、音を表わす文字です。かん字のように、一字一字に意味があるわけではありません。⁵



山の読みを、やま、ヤマと書き表わすのを、ローマ字では、yama と書き表わすのです。

ひらがなやかたかなと同じように、ローマ字の読み書きも、むずかしいことはありません。

○ ローマ字が、ひらがなやかたかなとちがうお¹⁰ もな点は、次のようなものです。

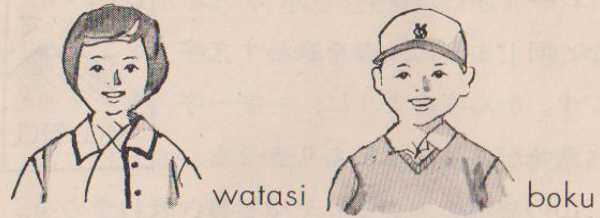
- ・ローマ字には、大文字と小文字があること。
- ・か、きを表わすのに、ka, ki と書くように、文字を組み合わせるばあいが多いこと。
- ・文を書くのに、一語一語をはなして、わかち¹⁵ 書きにすること。
- ・日本語を書き表わすのに使われるローマ字は、19字で足りること。

わたしたちの生活の中で、ローマ字がどんなところに使われているか、気をつけましょう。

○ローマ字が、ひらがなやかたかなとちがうおもな点は、次のようなものです。

- ・大文字と小文字
- ・文字を組み合わせるばあいが多い (ka, ki)
- ・わかち書き
- ・ローマ字は19字で足りる

1

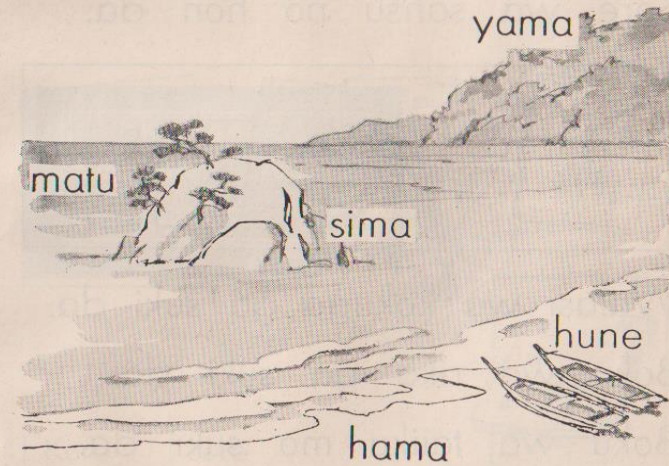


Watasi wa e o kaku.
Boku mo e o kaku.

・は、どめのしるし。(文の終わりにうつ。)

Watasi wa hama o kaku.
Boku wa sima o kaku.

Watasi wa yama mo kaku.
Boku wa kumo mo kaku.



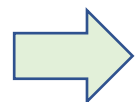
②ローマ字学習の目的は、どう変わってきたのか。

1. 昭和22年～昭和33年告示 小学校指導要領（*試案を含む）の時期

国語教育の徹底・充実

ローマ字による国語の読み書きを習得することによって、国語の音韻についての自覚、国語の構造ならびに機能上の特質についての理解を深めること

学習内容：文字・単語だけでなく、ローマ字**文**・ローマ字の**文章**を読み書きする。



わかち書きで書くための学習を行う。

・単語意識をはっきりもたせ、**国語構造に自覚を与える**など、文法的訓練にも役立ち、形の上から国語意識を明確にすることができる。

●わかち書きのルールを理解する必要があった。（参考：「ローマ字文の書き方」（昭和22年2月））

※昭和33年告示 小学校学習指導要領～

△国語国字問題に対して反省する機会を与える、△ローマ字が持っている国際的、能率的な長所を理解させる

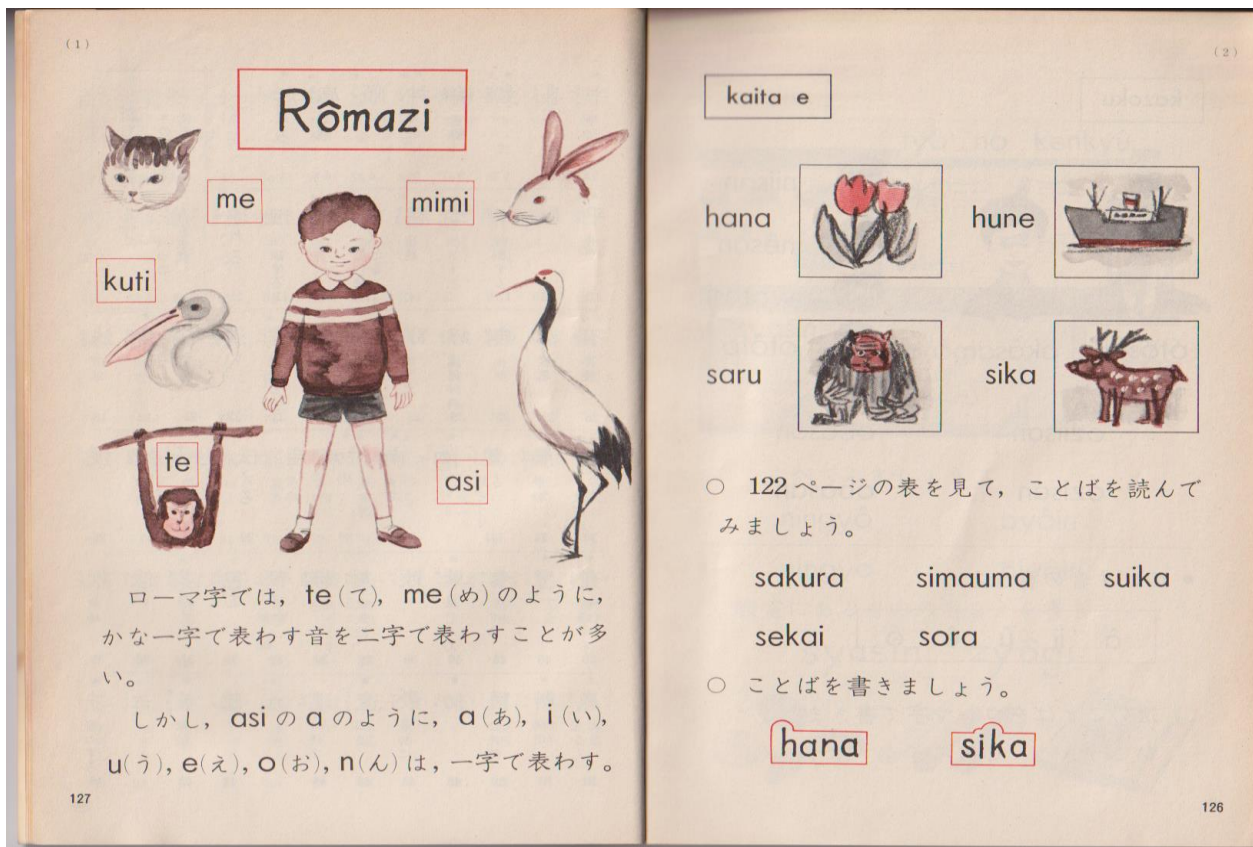
●昭和43（1968）年告示 *昭和46年4月施行

※「文」が学習対象から外れる

【第4学年】

3（4）第4学年において、ローマ字による日常ふれる程度の簡単な単語の読み書きを指導するものとする。

昭和45年検定 『新訂 新しい国語4上』東京書籍 「ローマ字」 pp.126-127



※昭和43年から現在まで、ほぼ同様の目標でローマ字教育は行われている。

昭和43（1968）年告示

↓

昭和52（1977）年告示

↓

平成元（1989）年告示

↓

平成10（1998）年告示

↓

平成20（2008）年告示

↓

*第3学年に変更

平成29（2017）年告示

（令和2年4月施行）

(1)

Rômazi

Namae

 Isida-Ryôiti

 Matumoto-Yosie

Ueda syôgakkô
4-nen 2-kumi
Saitô-Hirosi

ômozi AIUEOKST

komozi aiueokst

149

(2)

Nippon no timei



Hokkaidô

Aomori-ken

Biwako

Tôkyô-to

Kyôto-si

Huzisan

Kyûsyû

Nagoya-si

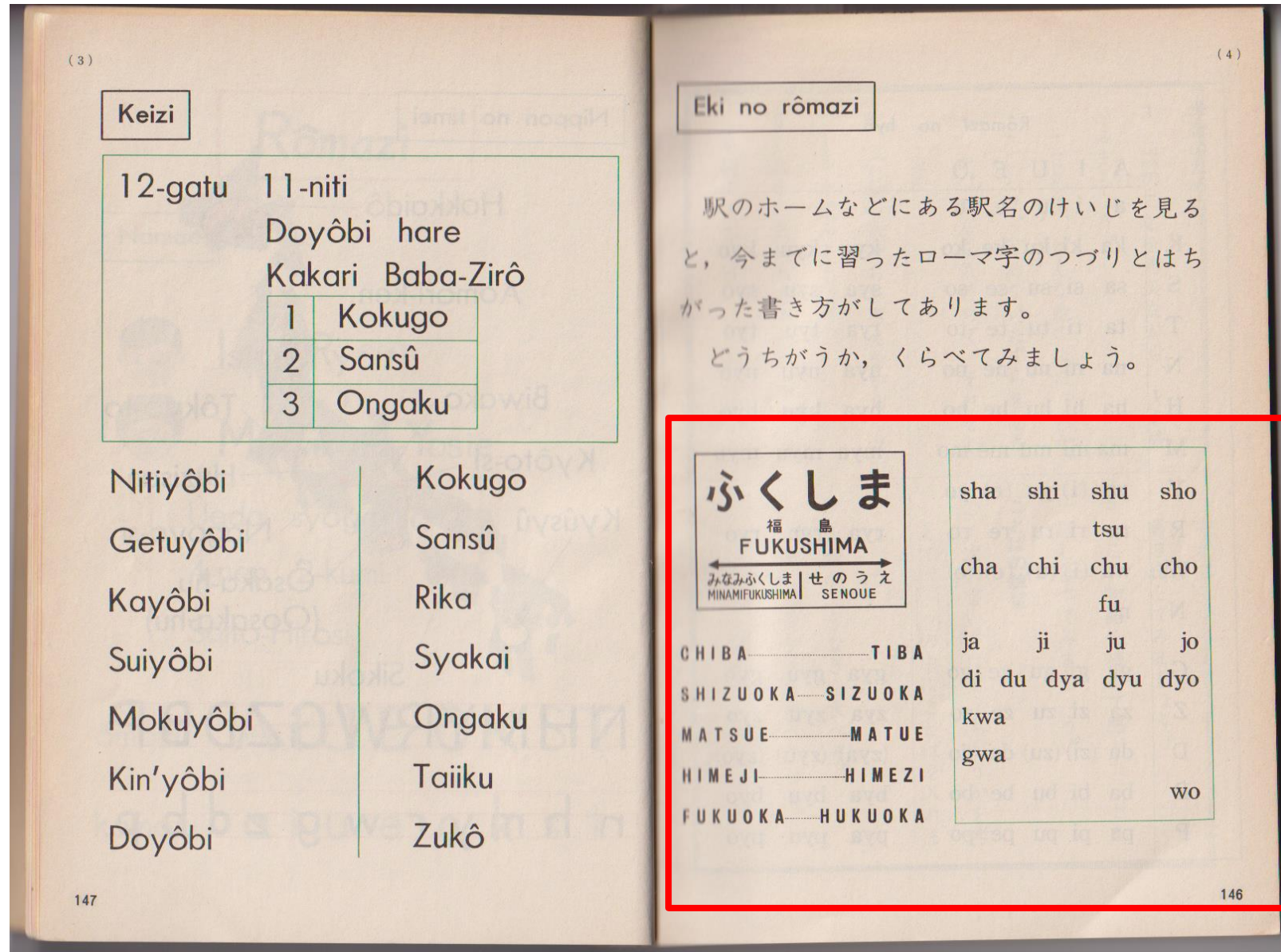
Ôsaka-hu
(Oosaka-hu)

Sikoku

NHMYRWGZDBP

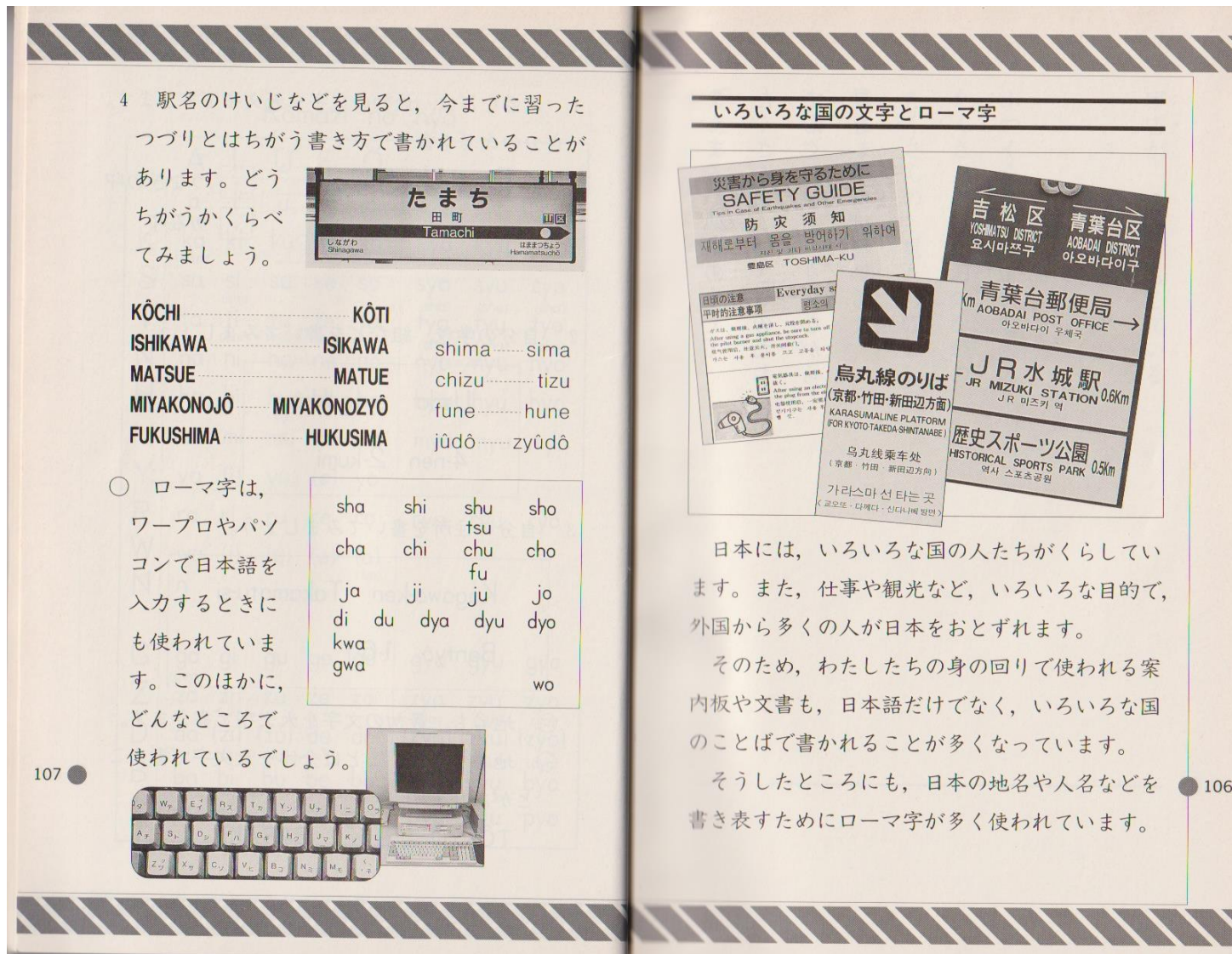
nhmyrwgzdbp

148



ワープロ・パソコンのローマ字入力に関する教材の導入

平成11年検定 『新訂 新しい国語4下』 東京書籍 「ローマ字3」 pp.146-147



ローマ字は、ワープロやパソコンで日本語を入力するときにも使われています。

②ローマ字学習の目的は、どう変わってきたのか。

2. 昭和43年～平成29年告示 小学校指導要領の時期

目標は設定されているが、何のために学習するのかという目的は示されていない。

学習内容：ローマ字で日常使われている簡単な**単語**の読み書きをする。

現在のローマ字学習の目的を考える上での手掛かり

文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』

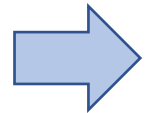
ローマ字の表記に当たっては、「ローマ字のつづり方」（昭和29年内閣告示）を踏まえることとなる。（中略）**第1表（いわゆる訓令式）**による表記の指導に当たっては、日本語の音が子音と母音の組み合わせで成り立っていることを理解することが重要である。**第2表（いわゆるヘボン式と日本式）**による表記の指導に当たっては、例えば、パスポートに記載される氏名の表記など、外国の人たちとコミュニケーションをとる際に用いられることが多い表記の仕方を理解することが重要である。

【p.79, 色付け・下線・中略=引用者】

*現在のローマ字教育の目的は何か

目標 ローマ字で日常使われている簡単な単語の読み書きができる。

- 日本語の音が子音と母音の組み合わせで成り立っていることを理解する。
- 外国の人たちとコミュニケーションをとる際に用いられることが多い表記の仕方を理解する。



「ローマ字による国語の読み書きを習得することによって、国語の音韻についての自覚、国語の構造ならびに機能上の特質についての理解を深める」（「ローマ字教育の指針」）という目的は、ほぼ失われたのか？

（参考）「改訂ローマ字教育の指針」（昭和25年3月）より一部抜粋

第2 教材 4 国語のもっている法則・性質に対する科学的興味を起こさせるようにする。

(1) 動詞の活用、複合語、複合語における連濁、音便等の言語現象を理解させる。

例1 動詞の活用

(読む：yoma→yomiなど) ma, mi, mu, me, mo

例2 複合語

sake+ya→sakaya ka, ki, ku, ke, ko

例3 複合語における連濁

asa+kiri→asagiri (ka, ki, ku, ke, ko ga, gi, gu, ge, go)

例4 音便

yomite (ta) →yonde

(2) 詩・歌・童謡などの韻文教材では、韻律の表現について理解させる。

日本語と外国語（英語）の違いに着目して、日本語の特徴について知る学習

音と文字との関係

日本語をローマ字で書くと、「a・i・u…」という**母音**と「k・s・t…」という**子音の組み合わせ**になります。日本語のかなは、～。

一方、英語は、「a・b・c…」というアルファベットを使って書き表されます。

○外来語 (発音の違い)

○ローマ字で書いてみる
⇒英語での発音を聞いて、日本語とのちがいを確かめる。

ケーキ	cake
プレゼント	present
クリスマス	Christmas

日本語と外国語

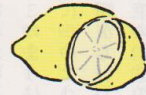
わたしたちがふだん使っている日本語は、世界にあるさまざまな言葉の一つです。ほかの国の言葉と比べたとき、日本語にはどんな特徴があるのでしょうか。ここでは、英語を例に考えてみましょう。

① 音と文字との関係

日本語をローマ字で書くと、「a・i・u…」という母音と、「k・s・t…」という子音の組み合わせになります。日本語のかなは、「あ・い・う・え・お」と「ん」をのぞくと、母音と子音の組み合わせによる音を表します。そのため、例えば「いるか」という言葉には、「い・る・か」という文字に対応した三つの音のかたまりがあります。

一方、英語は、「a・b・c…」というアルファベットを使って書き表されます。しかし、日本語とはちがいで、アルファベットを一つずつ読むだけでは、言葉にはなりません。また、一つの文字を二つ以上の音で読むこともありません。

▼ 次の日本語と英語、それぞれの発音を聞き比べてみましょう。



レモン
lemon



テニス
tennis



ミルク
milk

また、これまで学習してきたように、日本語には外来語があります。外来語の多くは、書くときにかたかなを使います。外来語は、もともとなる言葉の発音そのものは日本語では表しにくいいため、それに近い日本語の音になる文字で書き表されます。いったん外来語として取り入れられた言葉は、日本語として用いられるようになりますが、その反面、もとの国の言葉の発音とはちがいが生じます。そのため、もともとが英語であっても、英語を話す人には伝わりにくいことがあります。

▼ 次の言葉を、まずローマ字で書いて読んでみましょう。次に、英語での発音を聞いて、日本語とのちがいを確かめましょう。

ケーキ	cake
プレゼント	present
クリスマス	Christmas

海外で使われるようになった日本語もあるんだよね。



現在のローマ字教育の目的は何か

単語を書くという範囲内で…

ローマ字による国語の読み書きを習得することによって、国語の音韻についての自覚、国語の構造ならびに機能上の特質についての理解を深めること

- 日本語の音が子音と母音の組み合わせで成り立っていることを理解する。
- 外国の人たちとコミュニケーションをとる際に用いられることが多い表記の仕方を理解する。

+α

- 複数のつづり方が用いられている理由を知る。

(例) かん板や駅の案内に「shi」「chi」「tsu」などの書き方が用いられていることが多いのは、どうしてでしょうか。 【東京書籍『新しい国語四上』令和2年度, p.97】

- 日本語と英語の違いに着目して、日本語の特徴を知る。
- ◎ローマ字入力の仕方（及び変換の仕方*仮名文字、漢字学習とも関連）を理解する。

【参考引用文献】

- ・平井昌夫（1988）『国語国字問題の歴史』三元社
- ・文部省（1955）『ローマ字問題資料集（第1集）』明治図書出版

●学習指導要領

- ・文部省（1947）『昭和22年度 試案 学習指導要領 国語科編』中等学校教科書株式会社
- ・文部省（1951）『昭和26年（1951）改訂版 小学校学習指導要領 国語科編（試案）』中央書籍
- ・文部省（1958）『小学校学習指導要領』大蔵省印刷局
- ・文部省（1968）『小学校学習指導要領』大蔵省印刷局
- ・文部省（1969）『小学校指導書国語編』東京書籍
- ・文部省（1977）『小学校学習指導要領』大蔵省印刷局
- ・文部省（1989）『小学校学習指導要領』大蔵省印刷局
- ・文部省（1998）『小学校学習指導要領』大蔵省印刷局
- ・文部科学省（2008）『小学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版社
- ・文部科学省（2018）『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』東洋館出版社

【参考引用文献】

●教科書・指導書

(令和2年度版)

- ・『みんなと学ぶ 小学校国語 三年上』学校図書
- ・『みんなと学ぶ 小学校国語 三年下』学校図書
- ・『ひろがる言葉 小学国語 三上』教育出版
- ・『新しい国語 三上』東京書籍
- ・『新しい国語 三下』東京書籍
- ・『国語三上 わかば』光村図書
- ・『国語三下 あおぞら』光村図書
- ・『国語五 銀河』光村図書
- ・昭和39年検定 『小学新国語 四年上』光村図書
- ・昭和45年検定 『新訂 新しい国語 4上』東京書籍
- ・昭和45年検定 『新訂 新しい国語 4下』東京書籍
- ・平成11年検定 『新訂 新しい国語 4下』東京書籍

(令和2年度版)

- ・『みんなと学ぶ 小学校国語 三年上 教師用指導書 解説編』学校図書
- ・『みんなと学ぶ 小学校国語 三年下 教師用指導書 解説編』学校図書
- ・『ひろがる言葉 小学国語三上 教師用指導書』教育出版
- ・『新しい国語 三上 教師用指導書 指導編』東京書籍
- ・『新しい国語 三下 教師用指導書 指導編』東京書籍
- ・『小学校国語 学習指導書 3上わかば』光村図書
- ・『小学校国語 学習指導書 3下あおぞら』光村図書